



地震への備え

防災 減災



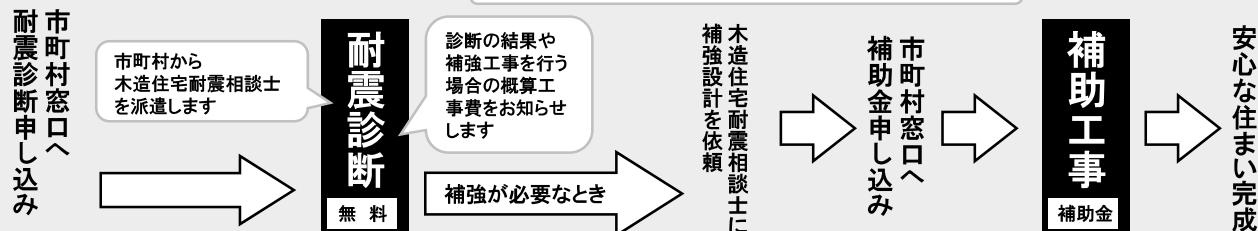
3つの備えで、自宅を安全な場所に！

①住宅の耐震化

- 昭和56年以前に建てられた家にお住まいの方は耐震診断や耐震改修工事をしていますか？

昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅を対象に全市町村で無料耐震診断を実施しています。詳しくは、お住まいの市町村窓口へご相談ください。

耐震化までの流れ(木造住宅)※イメージ



②家具の固定・配置

- タンスや棚などの重たい家具を、L字金具などで壁に固定していますか？
- 重たい家具や物は低い位置に置くようにしていますか？
- 寝室や部屋の出入り口付近には重たい家具を置かないようにしていますか？

③停電への備え

- リビングや寝室などに懐中電灯などの灯りを常備していますか？
- 手動充電のラジオや電池、予備のモバイルバッテリーなどを常備していますか？



地震の基礎知識

防災 減災



「地震」について調べてみよう！

日本は世界の陸地の1%にも満たない国ですが、世界で発生する地震のおよそ10%が日本や日本の近くで発生しています。日本は地震が多い国なのです。

これまで、強い揺れや津波などによって多くの被害を出した大地震が発生してきました。

→「濃尾地震」や「関東大震災」、「阪神・淡路大震災」、「東日本大震災」を知っているかな？
調べてみよう！



質問1

地震が起きたら、どのような現象や被害が起きるでしょうか？
下の絵をみながら、考えてみよう！



地震の基礎知識

防災 減災



地震やその揺れによって起こる現象や被害をみてみよう！

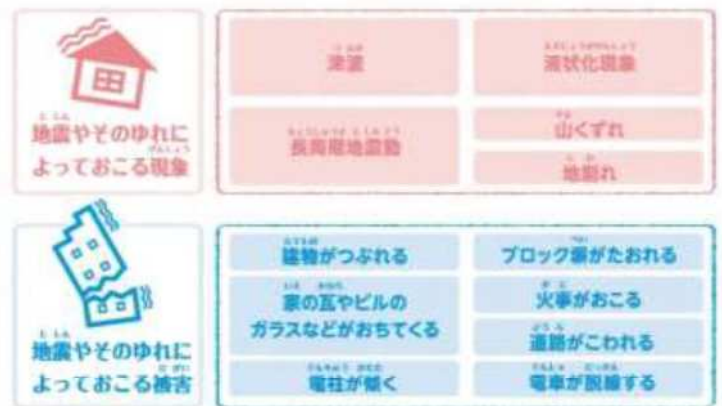
岐阜県では今から約130年前の1891年10月に濃尾地震が発生し、県内で4,889名の方が亡くなりました。

愛知県での死者数2,331名をあわせると、全国の死者数の99%を占めています。

県では濃尾地震が発生した10月28日を岐阜県地震防災の日として定めています。



質問1の答えだよ。
みんなはいくつ
言えたかな？



ここに書いてあるもの以外にも正解はあるよ。





地震の基礎知識

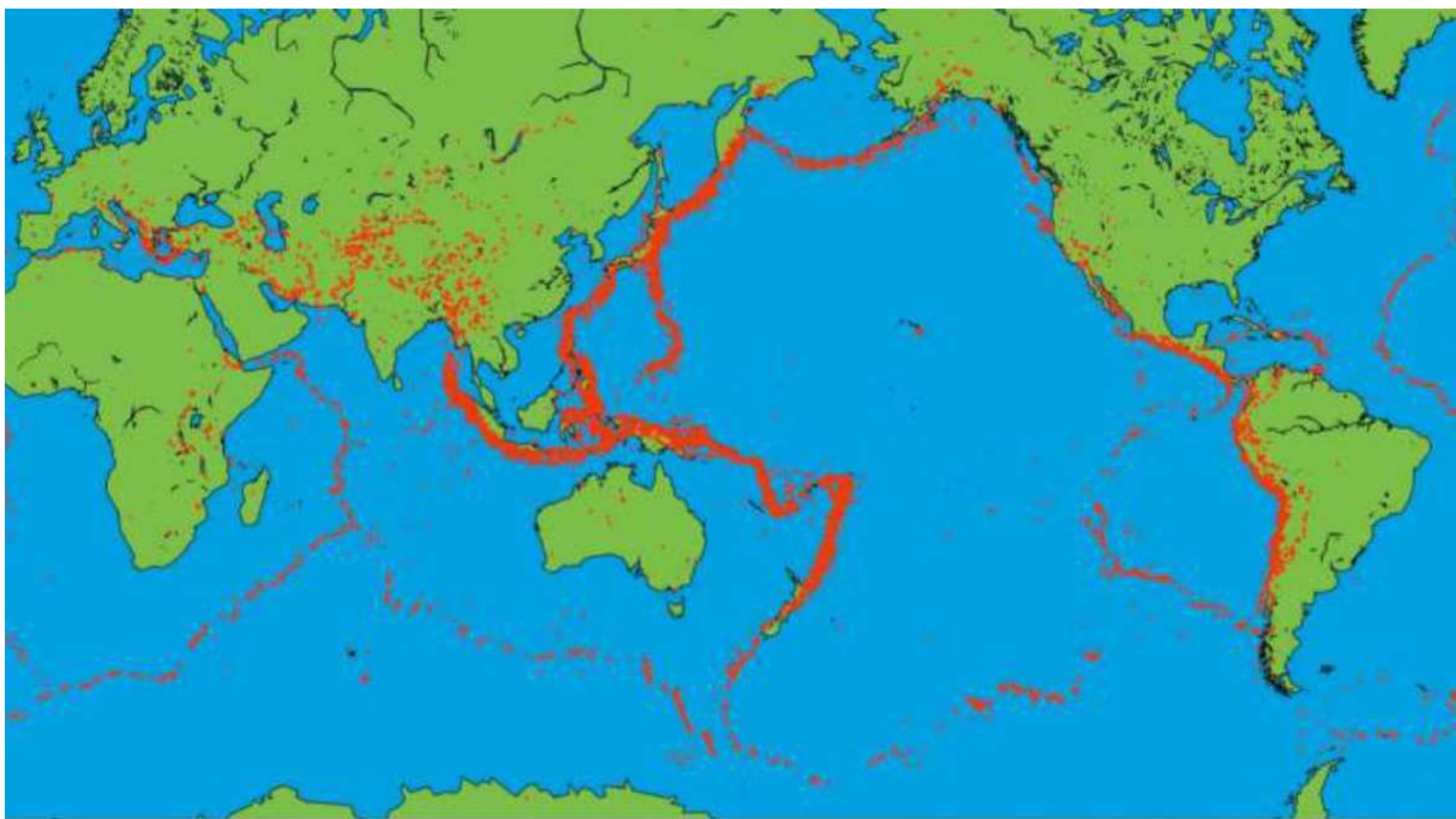
防災 減災



さて、何を表した地図でしょう？

質問2

下の世界地図の中で、日本はどこにあるかな？



* USGS (米国地質調査所) のデータをもとに、気象庁が作

質問3

世界地図の中の赤い印は、何を表しているのでしょうか？

1. 魚がたくさんいるところ
2. 地震が起きたところ
3. 台風が発生したところ
4. 石油がたくさんあるところ



地震の起きる仕組み

防災 減災



赤い印は地震が起きた場所！

質問3の正解は、「2. 地震が起きたところ」でした。

さて、日本のまわりは、赤いしるしがたくさんあって、世界の中でも、地震が多いようすがよくわかります。日本のまわりでは、1年間で2,000回くらいの地震が起きています。

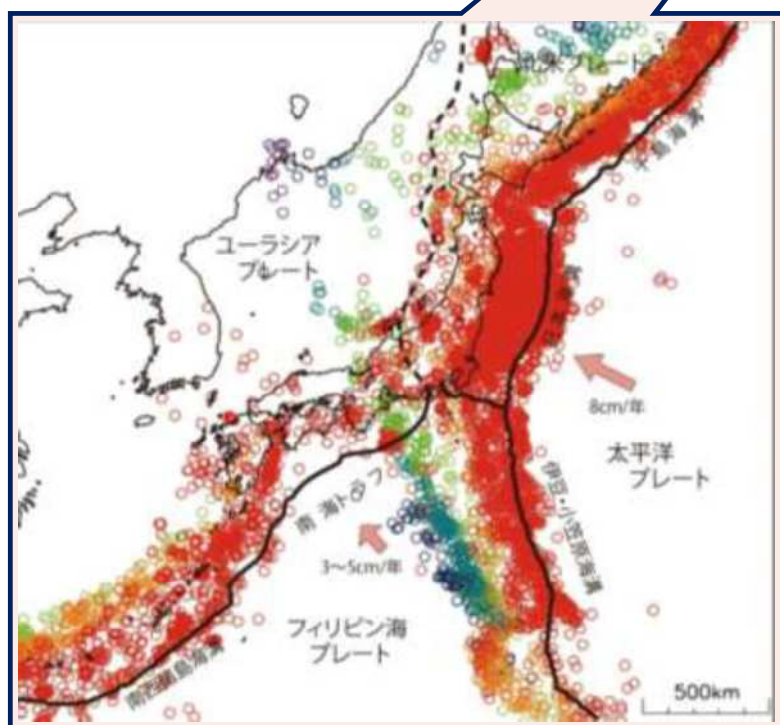
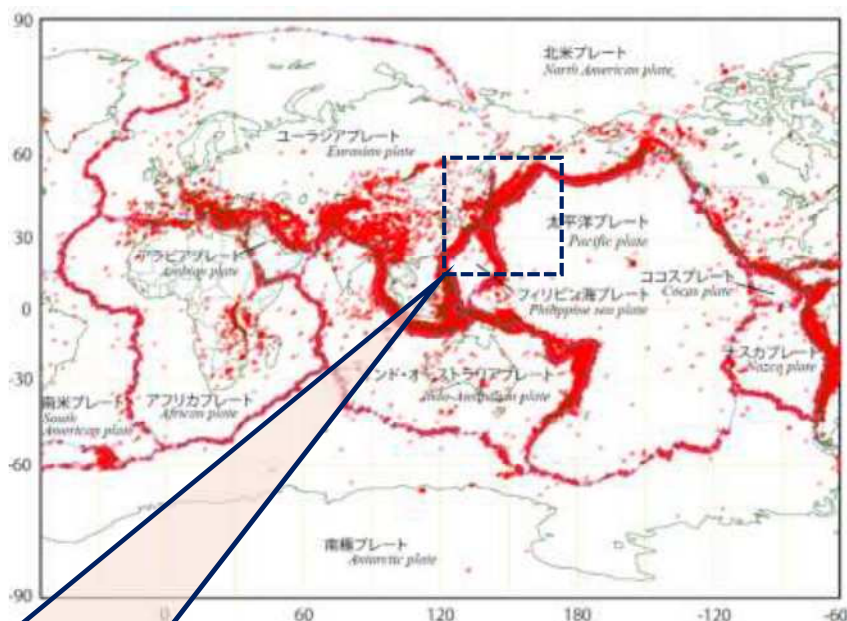
※屋内で静かにしている人の中で、揺れをわずかに感じる人がいるくらいの地震

地球の表面は、十数枚の「プレート」というかたい岩石の層におおわれています。

プレートは1年間に数センチ、皆さんのつめが伸びるくらいのゆっくりとしたスピードで動いています。

プレートにはとても大きな力が働いて、プレート同士がおたがいにぶつかったり、離れあったりしています。この力が地震を起こすのです。

世界地図で地震が起こったところを見ると、プレートのさかい目に沿ったところで多く起きていることがわかります。



日本の周りには、4枚のプレートが複雑に入り組んでいます。日本は、このようなプレートが集まっているところにあるため、地震が多いのです。





震度とマグニチュード

防災 減災



質問1

ニュースや新聞で震度やマグニチュードという言葉をよく聞くけど、何が違うのだろう？

「震度」は、わたしたちが生活している場所での揺れの強さ、
「マグニチュード」は地震そのものの大きさを表します。

震 度

0～7まで(5と6は弱、強)10段階
→ある地点で観測された揺れの大きさ

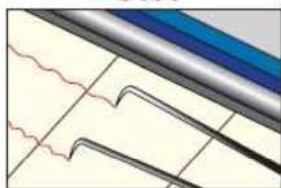
マグニチュード(M)

→地震そのものの「規模」

質問2

震度ごとに揺れ方って変わるのかな？

●震度 0



揺れを感じません。

●震度 1



じっとしているとすこやかに感じます。

●震度 2



電灯のかさが少し揺れます。

●震度 3



電灯のかさがかなりゆれて、棚の中の物が音を立てることもあります。

●震度 4



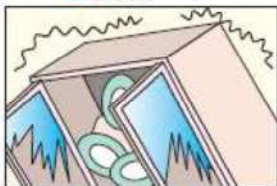
外で歩いている人も揺れを感じます。

●震度 5弱



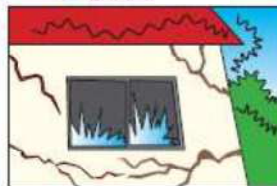
窓ガラスが割れたり、棚から物が落ちることもあります。

●震度 5強



人は思うように動けなくなり、固定されていない家具が倒れます。

●震度 6弱



家具の多くが倒れ、立つのが難しくなります。建物の壁にひびが入ったりします。

●震度 6強



立っていることができません。ブロック塀が崩れることもあります。

●震度 7



建物が倒れたりします。山崩れや地割れが起きることもあります。

地震が起きたときの注意事項

防災 減災



家の中では

地震時

まずは体を守り、身の安全を確保

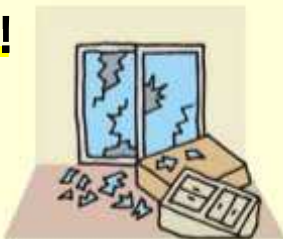
- 丈夫な机やテーブルの下に隠れよう。
- 座布団やヘルメットで頭を守ろう。
- 揺れが収まるまで様子をみよう。



地震後

こんな事に注意!!

- 倒れた家具やガラスの破片に注意しよう。
- 割れたガラスでケガをしないよう家のなかでもスリッパやくつをはこう。



火事が起きたら…

- 煙の中を逃げるときは、できるだけ姿勢を低くしよう。
- ぬれたタオルやハンカチで口をふさいで、煙を吸わないようにしよう。



家の外では

地震時

倒れそうなものから離れよう!

- ブロック塀や自動販売機など、倒れてきそうなものから離れよう。
- 屋根や窓ガラスの下から離れよう。



地震後

危険な場所には近づかない

- 倒れている電柱やたれさがっている電線には近づかない。
- 崩れかけた建物の下には近づかない。



お店にいたら…

- 非常口にみんなが集中すると押されて危険だよ。係の人の指示を聞いて落ち着いて行動しよう。

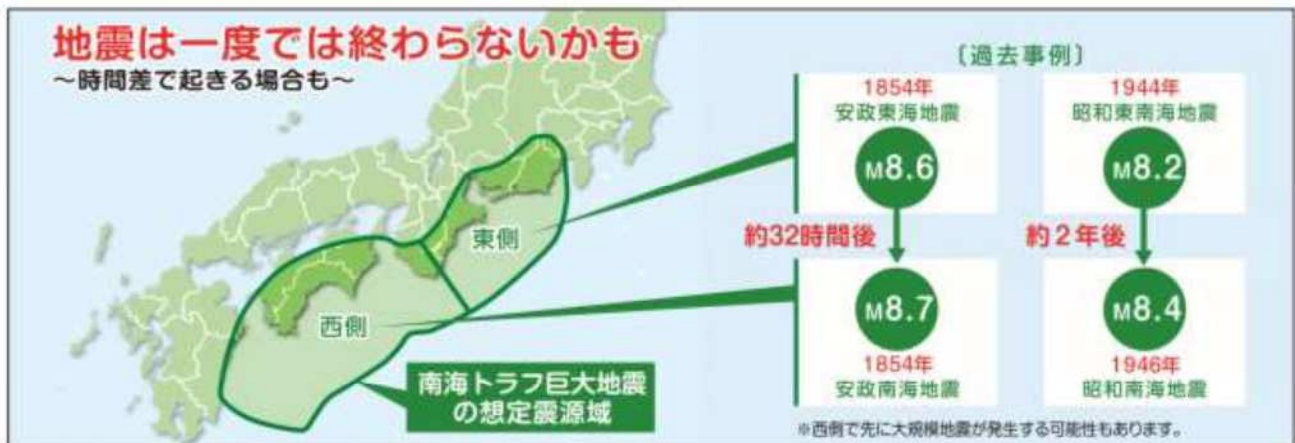


南海トラフ地震への備え

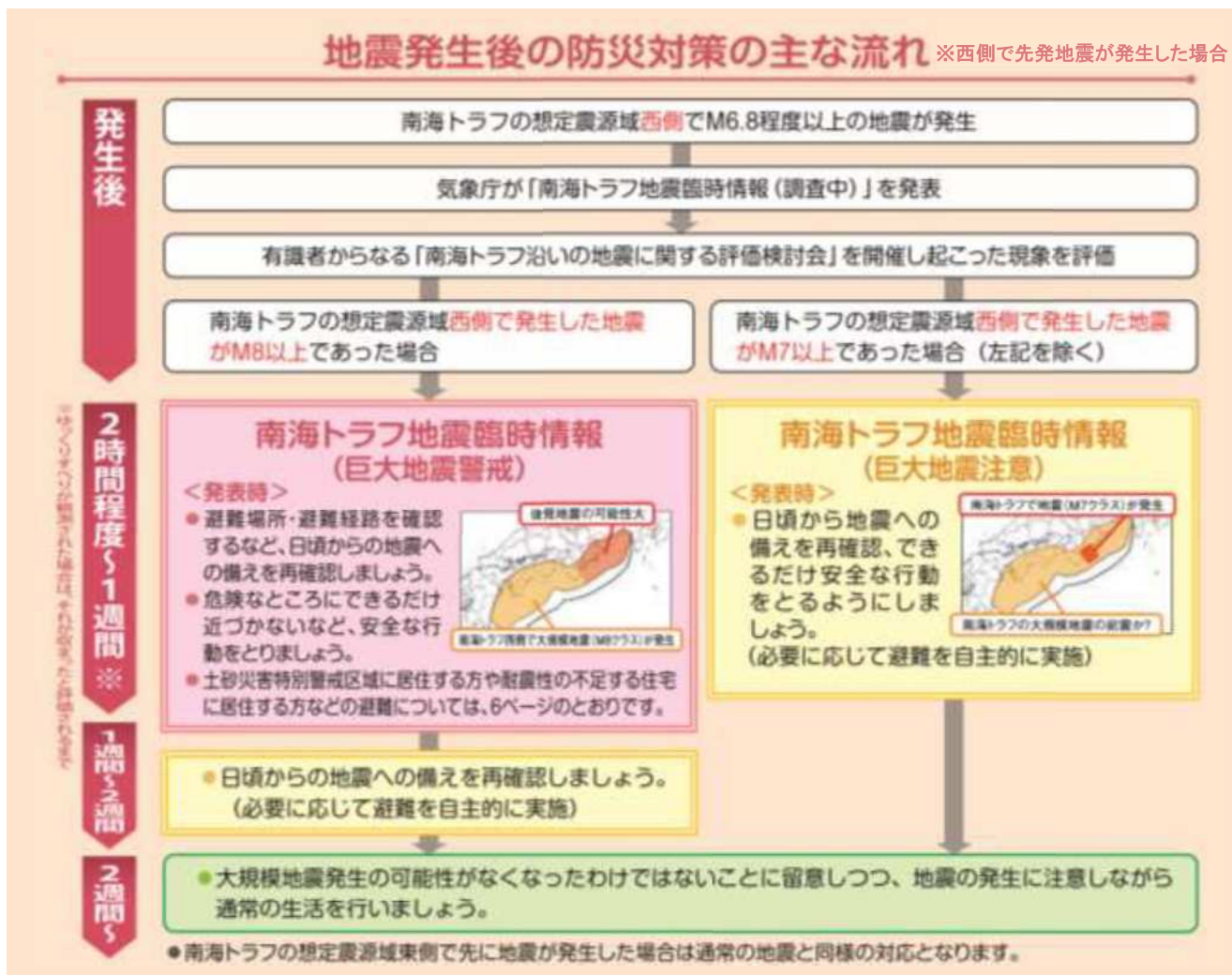
防災 減災



南海トラフとは、静岡県駿河湾から四国沿岸、九州東方沖まで続く深さ4,000mのプレートの境界です。この地域で起こりうる地震の総称を「南海トラフ地震」といい、ほぼ100年から150年に1度、大規模地震が繰り返し発生しています。



令和元年5月から気象庁による「南海トラフ地震臨時情報」の提供が開始されました。この情報は、南海トラフの想定震源域内の一部領域で大規模地震が発生し、残りの領域で後発による大規模地震の発生の可能性が高まったと評価された場合に発表されます。



南海トラフ地震への備え

防災 減災



南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表された場合の対応

県では、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表された場合、災害リスクや地域特性等を踏まえ、後発地震に備えて事前に避難を検討すべき地域等として以下のとおり定めています。

(1) 急傾斜地等における土砂災害に備えた避難

「土砂災害特別警戒区域」に居住する方を基本として、最初の地震発生後、原則1週間避難することが望ましい。

(2) 海拔ゼロメートル地帯における堤防沈下による浸水害に備えた避難

堤防沈下によって、河川水の越流により30cm以上の浸水が30分以内に生じる地域に居住している避難行動要支援者は、原則1週間避難することが望ましい。

(3) 耐震性の不足する住宅の倒壊に備えた避難

耐震性が不足する住宅に居住する場合、できるだけ安全な知人・親類宅や避難所に避難するなど、原則1週間身の安全を守るための行動をとることが望ましい。

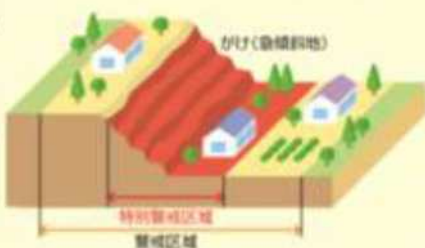
気象庁 南海トラフ地震臨時情報

検索



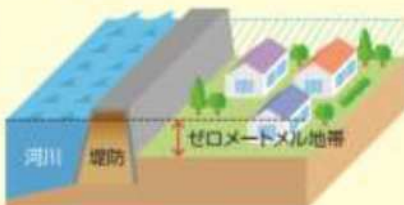
土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)について

土砂災害警戒区域のうち、急傾斜地の崩壊等に伴う建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域です。



海拔ゼロメートル地帯について

満潮時の平均海水面よりも低い地域のことを言います。岐阜県の南西部は、長良川、木曽川、揖斐川の木曽三川に囲まれた海拔ゼロメートル地帯が広がっています。



南海トラフ地震の県内被害想定

最大震度 6 弱

南海トラフ地震の想定震源域全体(東側と西側)で発生するケース



強い揺れが3～4分続くことにより大きな被害が発生する可能性がある。

建物被害(棟)		人的被害(人)		避難者(人)
全壊	半壊	死者	負傷者	
35,000	100,000	470	13,000	161,000

上記は冬の朝5時発生を想定しています。